

# スタンディングリフトを活用した業務効率改善と 労働安全衛生への取り組み

---



社会福祉法人 土佐香美福社会

特別養護老人ホーム ウエルプラザやまだ荘



**1 | プロフィール**

**2 | 業務改善の実施フロー**

**3 | 課題**

**4 | 取組内容**

**5 | 今後について**



# 1 | プロフィール

## 本施設のコネプト

特別養護老人ホームウエルプラザやまだ荘 設置認可 事業開始 平成11年4月1日  
増床移転開設 平成31年2月1日

(法人理念)

- 1、地域から信頼と安心そして理解を寄せられる法人となります。
- 2、福祉施設=利用者の生活の場であることへの責務を負います。
- 3、職員の願い、利用者の期待に応えられる経営をします。

施設名	社会福祉法人 土佐香美福祉会 特別養護老人ホーム ウエルプラザやまだ荘
所在地	高知県香美市土佐山田町秦山町3丁目4番20号
職員体制	施設長 介護職員 46名 看護職員 7名 機能訓練指導員 1名 副施設長 生活相談員 3名 (介護支援専門員兼務) 管理栄養士 1名 事務員 2名
利用者数等	全室ユニット型個室特養 88室 特別養護老人ホームウエルプラザやまだ荘(定員 76 人) 特別養護老人ホームウエルプラザやまだ荘短期入所生活介護事業所(定員 12 人)



## 2 | 業務改善の実施フロー

<b>ステップ1</b> 10月上旬 ～ 10月下旬	改善活動の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ リーダーである業務課長を中心に、フロアリーダー、ユニットリーダー、介護主任、介護支援専門員などで、業務改善を推進するチームを編成</li></ul>
<b>ステップ2</b> 10月上旬 ～ 10月下旬	現場の課題を 見える化しよう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 職員の肉体的、身体的負担を伴う直接業務が多く、利用者へのケアの質を維持しつつ、業務負担を軽減することを施設全体として考えていた。その中で特に排泄介助について、二人介助しており時間がかかっていることを課題と感じていた。</li></ul>
<b>ステップ3</b> 10月下旬 ～ 11月下旬	実行計画を 立てよう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 排泄介助にノーリフト機器を活用することで、二人介助を一人介助にし、これまで排泄業務を行っていた人員を、利用者の見守り等、他の業務等に移行することを目指した。</li><li>■ また業務負担の軽減のみならず、利用者に対するケアの質を向上することも目的とした。</li></ul>
<b>ステップ4</b> 12月上旬 ～ 1月上旬	改善活動に 取り組もう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 排泄介助の一連のプロセスを整理し、どの場面でノーリフト機器を使用し、一人介助するかを検討した。</li><li>■ 施設内でノーリフティングケアに精通した職員が適宜アドバイスするなどして、施設内でノーリフト機器の習熟を図った。</li></ul>
<b>ステップ5</b> 1月上旬 ～ 1月下旬	改善活動を 振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 機器導入後、排泄介助時間の削減等の定量的効果や業務負担の軽減等の定性的効果に関して、<b>タイムスタディ</b>やアンケートによって効果検証した。</li></ul>
<b>ステップ6</b> 1月上旬 ～ 2月上旬	実行計画を 練り直そう	<ul style="list-style-type: none"><li>■ ノーリフト機器を用いて、一定期間、排泄介助を行ってみて気づいた点を整理し、再度業務プロセスを再構築した。</li></ul>



課題

1

■ 排泄介助での多人数ケア

トイレでの排泄介助に複数人員をとられ、その他の介助時間に影響を及ぼしている。

課題

2

■ 清拭タオルの洗浄・管理

清拭タオルを洗浄・整頓する業務に、膨大な時間と労力、費用がかかっている。



### – 取組み **1**

---

#### 多人数ケアの見直し

トイレでの排泄介助時にスタンディングリフトを活用し、移乗や付き添う時の介助者数を、多人数から一人に変更し、安全に行えるようにする。またスタンディングリフトを使った取組みによる、入居者の機能変化についても評価する。

### – 取組み **2**

---

#### 清拭タオルの見直し

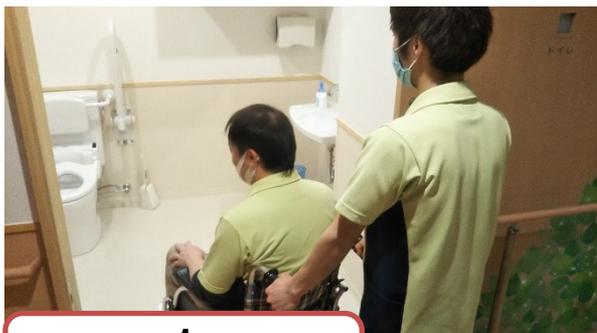
清拭タオルを使用すると、荒洗浄、消毒、洗濯、乾燥、整頓、管理といった一連の作業工程が発生するため、職員の作業負担につながっている。使い捨ての清拭タオルへの変更を検討する。



– 取組み **1**

---

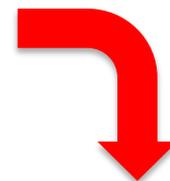
トイレでの多人数介助からスタンディングリフトへ



移動：1人介助



移乗・脱衣：2人介助



排泄介助 取り組み前

トイレでの多人数介助



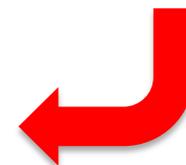
付き添い：1人介助



移動：1人介助



移乗・臀部洗浄・着衣：2人介助





**取り組み前** 排泄介助（トイレ）



移乗・脱衣：2人介助

前方から一人が抱え上げ、もう一人が後方からズボンを下げ、パットを外す。



付き添い：1人介助

座位姿勢が安定しない方については、付き添いが必要。



移乗・臀部洗浄・着衣：2人介助

排泄が終わると、前方から一人が抱え上げ、もう一人が後方から臀部を清潔にし、着衣介助を行っている。

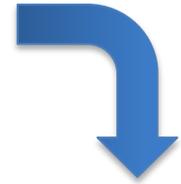




移動：1人介助



移乗・脱衣：1人介助

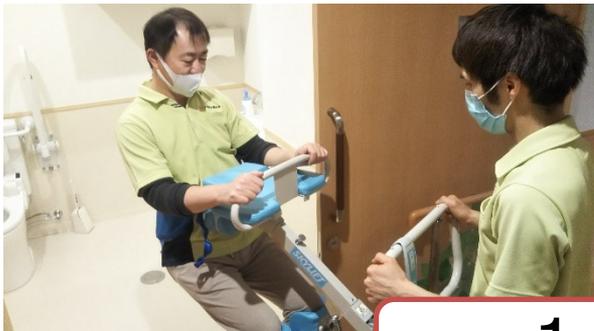


排泄介助 取り組み後

トイレでスタンディング  
リフト使用



付き添い：0人介助



移動：1人介助



移乗・臀部洗浄・着衣：1人介助





# 効果

■排泄介助に関わるタイムスタディ（1回目）

利用者 D	項目	①移乗開始	②移動開始	③トイレ内 介助開始	④便座着座	⑤トイレ内 介助開始	⑥移動開始	⑦移乗開始	⑧移乗終了
説明	時刻	車椅子へ移乗するため、起居介助開始もしくは、椅子からの移乗介助の直前からスタート	移動のため、フットサポートへ足を乗せた時間を記載	移乗含むトイレ内での介助のため、車椅子にブレーキをかけた時間を記載	便座に着座した時間を記載	排泄が終了し移乗含むトイレ内での介助をするために立ち上がる直前の時間を記載	トイレから出るために、車いすのブレーキを解除した時間を記載	ベッドや椅子へ移乗するために、車椅子にブレーキをかけた時間を記載。	椅子へ座った時間もしくはベッドを最低床にした時間を記載。
	介助職員数	①②間に関与した職員数を記載	②③間に関与した職員数を記載	③④間に関与した職員数を記載	④⑤間に関与した職員数を記載	⑤⑥間に関与した職員数を記載	⑥⑦間に関与した職員数を記載	⑦⑧間に関与した職員数を記載	記載不要
記入例	時刻	0:00	2:35	3:10	4:12	10:28	11:15	11:57	13:44
	介助職員数	2	1	2	2	2	1	2	—
1	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:27	0:50	4:15	4:51	5:20	ベッドへ帰ら
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	—
2	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:39	1:06	8:48	10:45	11:38	13:42
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	1
3	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:32	1:27	10:20	11:13	11:45	12:30
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	1
4	時刻	0:00	3:57	4:27	4:59	8:32	10:18	10:44	ベッドへ帰ら
	介助職員数	1	1	1	2	1	2	1	—
5	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:27	1:33	3:05	4:27	6:46	ベッドへ帰ら
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	—
6	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:41	1:56	6:22	10:02	12:33	ベッドへ帰ら
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	—
7	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:28	1:03	3:17	4:22	7:38	ベッドへ帰ら
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	—
8	時刻	車椅子乗車から	0:00	0:45	1:31	5:29	10:28	12:16	ベッドへ帰ら
	介助職員数	—	1	1	2	1	2	1	—



## 効果

### 13名分、日中2回トイレへ行った場合の結果

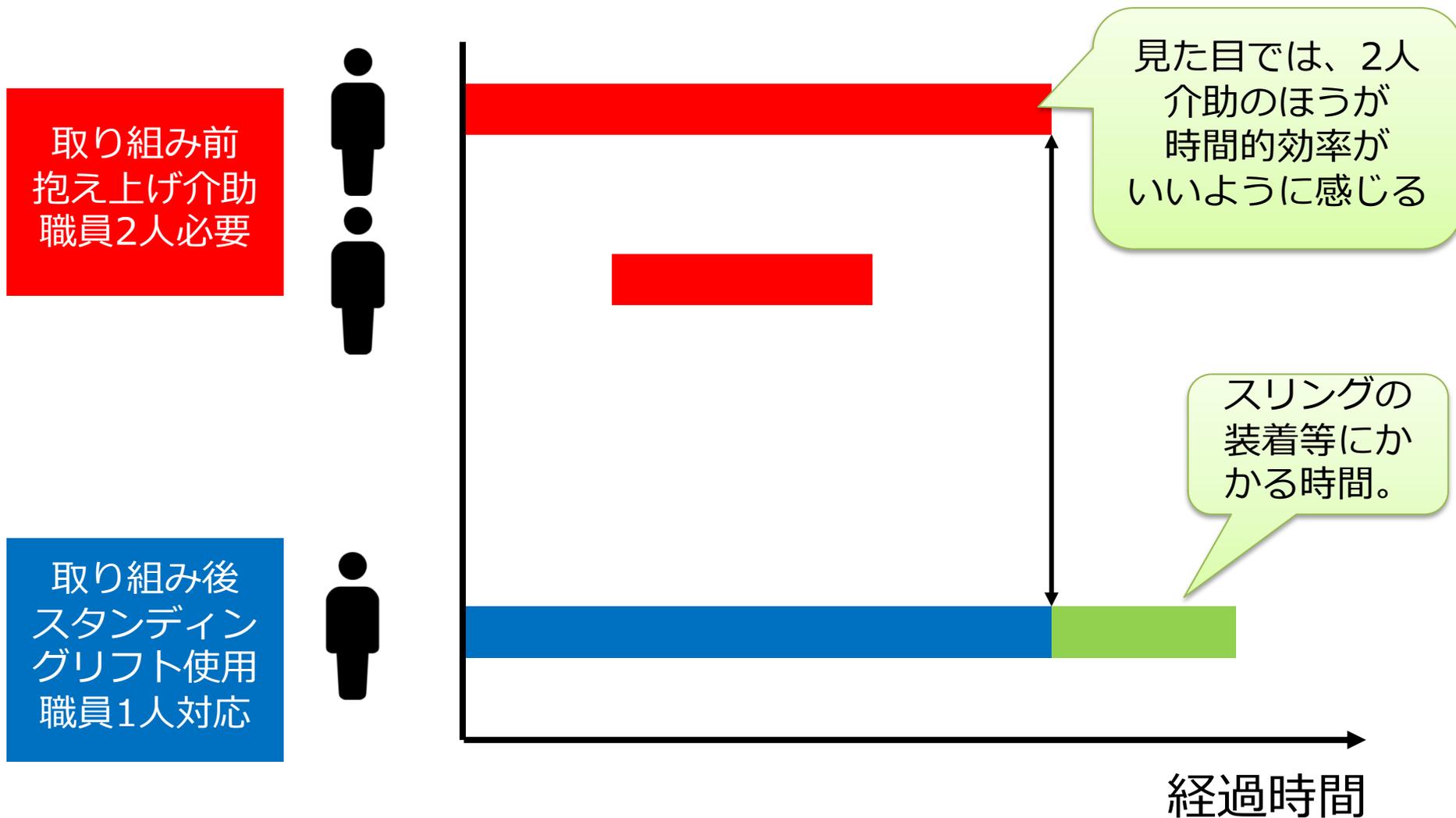
	総介助時間 (見た目の介 助時間)	多人数 介助時間	付き添い時間	1日トータル 介助時間
取り組み前	13987	4008	0	17995 (299分)
取り組み後 (スタンディ ングリフト導 入後)	15607	0	-7974	7633 (127分)

時間単位：秒

注：ヘルプ職員の移動時間は含めていません。  
純粹に介助をした時間のみを記録しています。



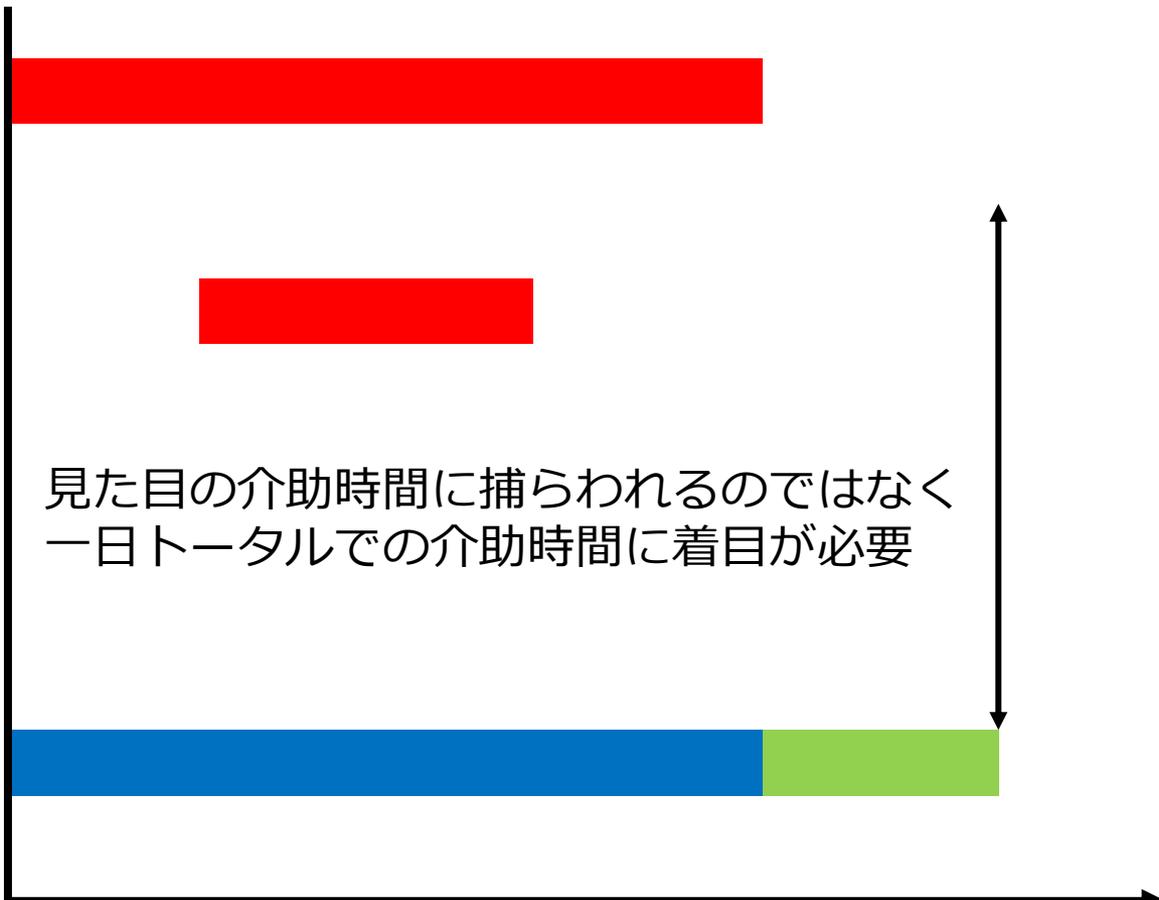
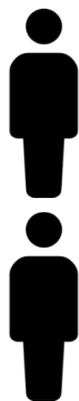
## 入居者Aさんの、排泄介助にかかる時間





## 一日トータルでの、排泄介助にかかる時間

取り組み前  
抱え上げ介助  
職員2人必要



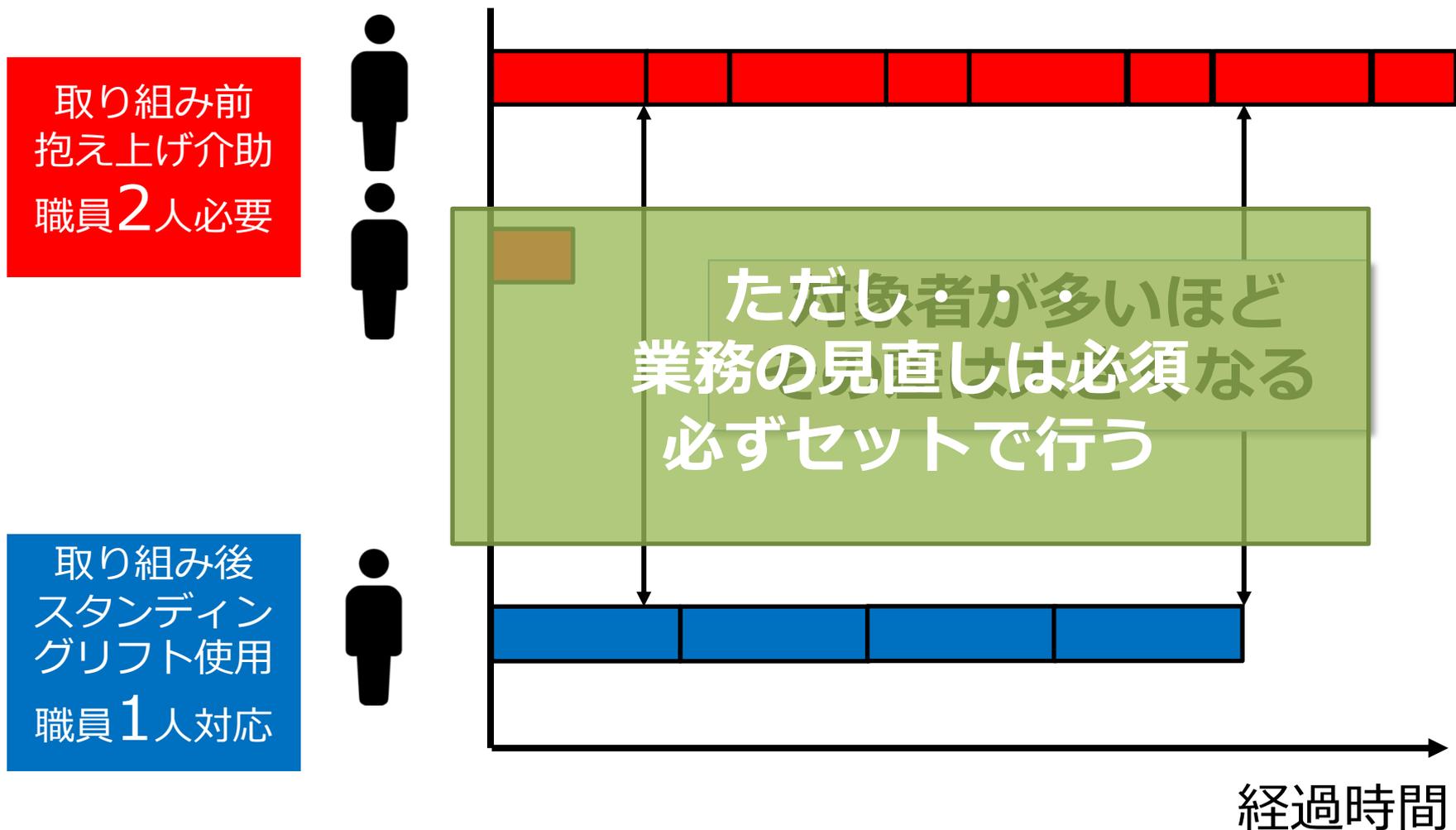
取り組み後  
スタンディング  
グリフト使用  
職員1人対応



経過時間

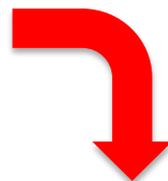


# 一日トータルでの、排泄介助にかかる時間





移乗・脱衣：2人介助



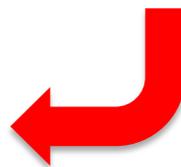
臀部洗浄：2人介助



入浴介助 取り組み前

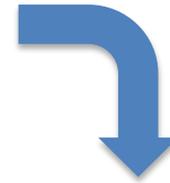
入浴場面での多人数介助

移乗・着衣：2人介助

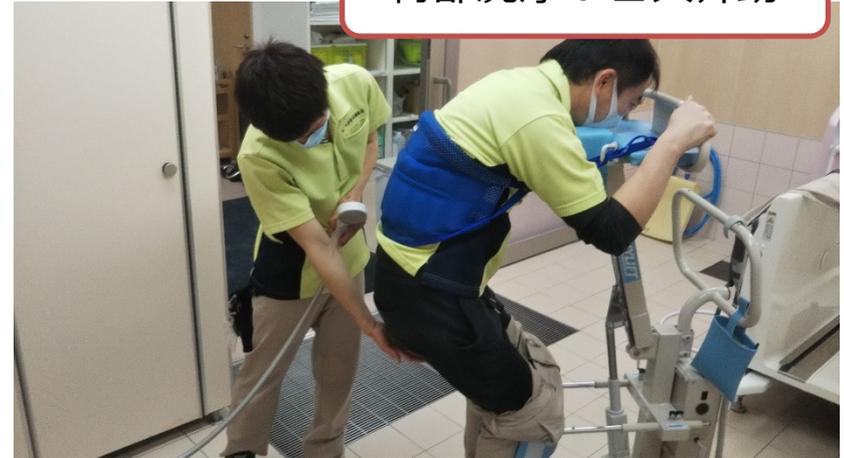




移乗・脱衣：1人介助

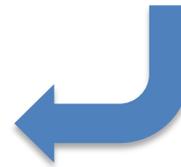


臀部洗浄：1人介助



入浴介助 取り組み後

入浴場面でスタンディング  
グリフト使用



移乗・着衣：1人介助



入浴介助 取り組み前 多人数介助



入居者1人にかかる平均入浴介助時間  
**38分**

職員2人のトータル介助時間  
(ヘルプ職員が到着までの時間は含まない)

38分+12分=**50分**

入浴介助 取り組み後  
スタンディングリフト使用



入居者1人にかかる平均入浴介助時間  
(介助はすべて一人で行える)

**45分**

(1フロア) 3階フロアのみでの結果



今回の取り組みで、スタンディングリフトを使用すると、施設全体で

排泄介助一日トータル

約172分

入浴介助一日トータル

約100分

合計 一日最大、約 **272分** 削減が見込まれる。



## スタンディングリフトを使用した入居者様の身体機能について





## スタンディングリフトを使用した入居者様の身体機能について



写真及び動画掲載については、入居者家族より許可及び快諾をいただいております。



## – 取り組み **2**

---

使い捨て清拭タオルへ移行経過



## 清拭タオル使用での課題

荒洗浄、消毒、洗濯、乾燥、整頓、管理  
様々な作業工程にかかっている。

労力と時間

等に時間と負担が

衛生管理も必

精神負担

工程が複雑。

清拭タオル専  
用不能に陥っ

費用

4台が過用劣化で使



## サービス・排泄ケア検討委員会

- 使い捨ておしりふきの検討

冷たく感じるためウォーマーを模索

レンタルでの使い捨ておしぼり機のデモを検討中

費用については、経費削減のための仕分け作業中

**現在進行中**

- おむつやパットの見直しを行い、費用削減できる部分を洗い出し、デモを経て削減に至った

- 清拭タオル洗浄時の身体負担軽減策を検討

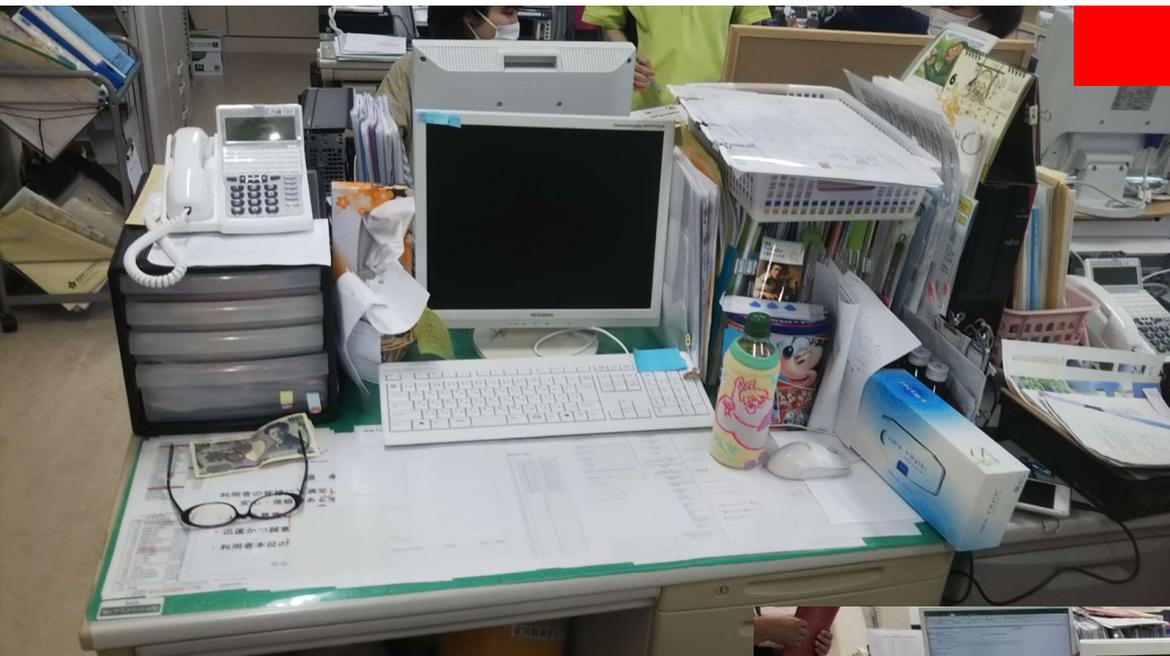


汚物処理室での  
清拭タオル洗浄





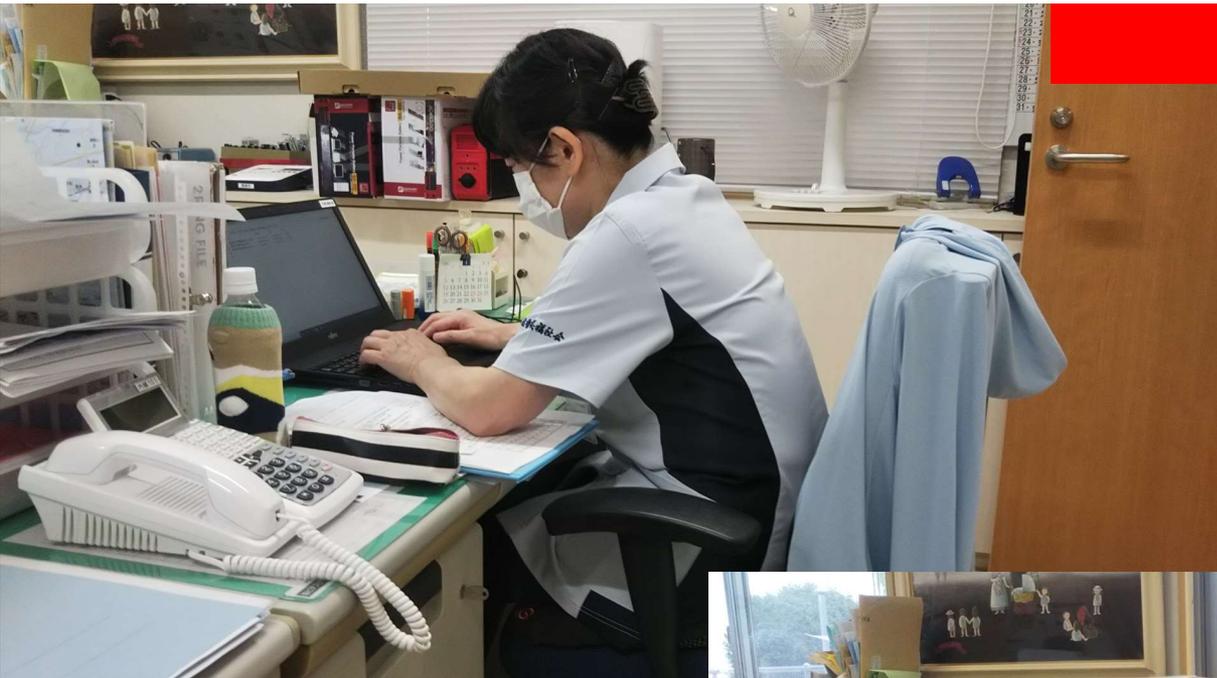
Before



After



Before



After





事業所で取り組んでいる労働安全衛生をさらに強化し  
職員、利用者双方に優しい、ノーリフティングケアを定着  
していきたいと考えています。

また、今回の事業で得た、業務効率改善の手法を活用し  
事業所全体が働きやすい職場となるように、継続します。